



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦

電話・FAX 534-0267

E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com

http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi

めっきりと涼しさが感じられる日々になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年、自然災害は、大震災に止まらず、台風12号、15号が日本各地で猛威を振るい、立川市に於いても少なからず被害をもたらしました。近年の自然災害が、まるで東京直撃を避けるようにして発生しており、今回の台風直撃は、首都圏に対する警告のようにも思えます。市として、防災対策の充実を急がなければならないと決意しております。

一方で現在、立川市議会に於いては、議会改革の検討を進めております。市の今後の方針や、様々な問題解決の為に、議員・議会としてどのように取り組むのか。地方分権、地域主権が叫ばれる中、議会改革は避けては通れません。

市民の代表としての議員・議会のあり方が問われております。近い将来、積極的に市民の皆様の中へ飛び込み、議会基本条例の制定と新しい開かれた立川の市議会を構築して参ります。



【2011年 第3回市議会定例会で】

2011年第3回市議会定例会が9月16日から10月21日まで開催されました。今定例会では、平成22年度決算特別委員会が開催されました。一般会計の歳入総額は691.3億円で、前年度を66.8億円下回っています。歳出では、民生費が313億円で全体の47.2%を占めます。自治体の財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は97.2%（高い程自由にお金が使えません）にのぼり、今後も難しい財政運営が予想されます。

また審議では、立川市暴力団排除条例を制定しました。11月1日施行です。

所属する環境建設委員会では、放射能の子どもに対する不安から、国の暫定基準値の見直しに関する陳情が出され、採択しました。その他、市内の空間放射線量測定結果、清掃工場移転問題について等の報告を受けました。

私の一般質問の主な質問内容

★防災と東日本大震災被災地支援について

- ◆主張 自然災害等への備えとして、家族で防災会議が開けるよう防災チェックシートをホームページに掲載し、市として家族防災会議の日を定めるべき
- <答弁> 現時点での家族防災会議の日の制定の予定はないが、家族防災会議の周知とチェックシートのホームページへの掲載を行う（市長）
- ◆主張 東日本大震災被災地支援として、東京都が現在被災地応援ツアー（1泊3000円補助）を行っている。市民に活用して頂くよう積極的にPRすべき
- <答弁> 是非市民の方にご利用して頂くよう、市ホームページで周知を図る（市民生活部長）

★国体開催とスポーツ振興について

- ◆主張 明後年にスポーツ祭東京2013（国体）が行われる。子ども達に高度なスポーツ技術を見てもらう絶好の機会、積極的に学校支援を行うべき
- <答弁> 児童・生徒の希望を学校単位で取りまとめ、応援体制をとる等、協議していく（市長）
- ◆主張 国体開催を良き契機として、市民に健康の面からも体育・スポーツの振興を図り、更に地域密着型のスポーツクラブの創設を図るべき
- <答弁> 地区体育会を母体として地域スポーツクラブを創設し、子どもから大人まで気軽にスポーツに親しめるよう図っていく（教育長）
- ◆主張 現在行われている子どものスポーツ技術向上のジュニア育成推進事業が、間もなく終了すると聴いているが、今後も存続させていくべき
- <答弁> 東京都の事業を活用しているが、今後の動向を見きわめながら検討していく（市民生活部長）

★期日前投票について

- ◆主張 選挙の際、期日前投票が定着してきている。投票所での混雑緩和の為、郵送される投票所入場整理券の裏面に宣誓書の印刷を行っておくべき
- <答弁> 期日前投票時における宣誓書の入場券記載方式について、調査をしていく（選挙管理委員会事務局長）

★立川市の魅力の発信について

- ◆主張 市内の歴史や観光、産業・文化、スポーツ等、立川市の魅力を市内外に積極的に発信するようホームページを工夫すべき
- <答弁> 本市の魅力を市内外にアピールする事は、必要不可欠である。スマートフォンの活用等検討していく（総合政策部長）

皆様の声で実現しました！



こぶし会館の畳が新しく

こぶし会館2階の和室の畳が新しくなりました。これからも皆様の声をしっかりと実現して参ります。



大山団地北側道路に看板

大山団地15棟北側の道路に、飛び出し注意！看板が設置されました。子どもの安心・安全に向けて今後も頑張ってお参ります。



砂川町の道路整備

砂川町5・6丁目の境目の道路が整備されました。傷みがひどく、『早期に整備を』との声が寄せられていたものです。

下水処理場の汚泥焼却灰の保管状況を視察



立川市では、錦町の下水処理場で下水処理を行っています。その処理過程において発生する脱水汚泥及び汚泥焼却灰に、残念ながら放射性物質があります。それを現在、下水処理場内に保管しています（周囲に心配はありません）。

既存施設だけでは保管場所が足りずに、倉庫を1棟建てたのですが、そこも間もなく満杯になります。現在国・東京都で処分の検討を行っていますが、一刻も早い対応を今後も要請して参ります。

「立川断層帯について」の講演会を聴講

10月11日、こんぴら橋会館において、長年に渡り立川断層を研究してこられた首都大学東京の山崎晴雄教授の講演会「立川断層帯について」が開催されました。

結論としては、『地震発生率は増加したが、それは僅かなもので、立川断層が今すぐ活動するような状態になったというものではない。ただ、東日本大震災以降、日本列島は地殻の状態が不安定になっている』と言われていました。

立川断層について、極端に心配することはないと思います。



市内小・中学校普通教室のエアコン設置が完了！

立川市は、教育環境の整備と熱中症対策の一環として、都の補助を受けて、市内の小・中学校普通教室にエアコンを設置しました。

9月に学校の視察を行いました。児童や生徒は「涼しくて勉強に集中できます」との喜びの声をあげていました。

(右写真 第3中学校)



柏小学校の屋上に太陽光パネルが設置

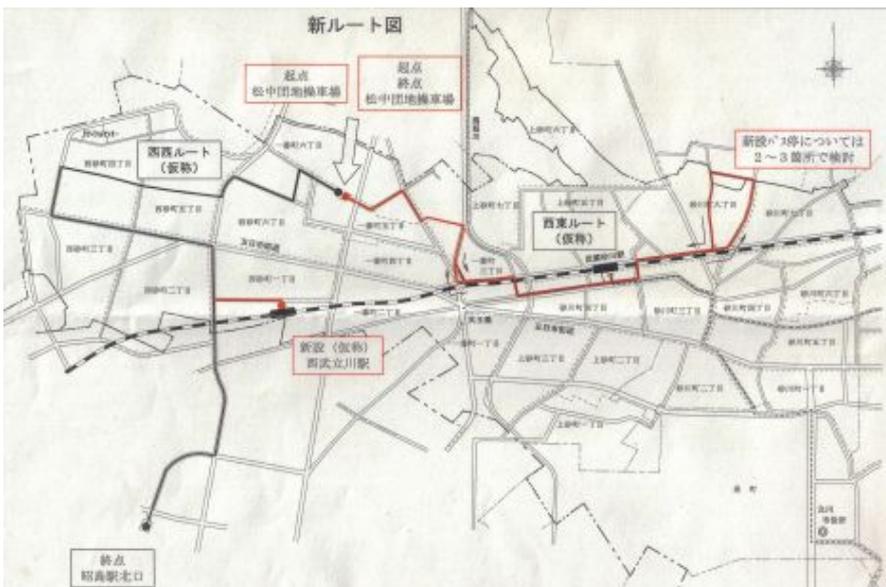


東京都は、「10年後の東京」計画における環境問題への取り組みの一環として、都内の小学校に太陽光発電設備を設置する活動を推進しています。

この事業を活用して、立川市の小学校として初めて太陽光パネルが設置されました。

子ども達の環境教育にも役立てられます。

くるりんバスが砂川町8丁目まで延伸



このほど、くるりんバス西ルートが再編され、武蔵砂川駅から延長し、砂川町7丁目と8丁目の境の道路（東航通り）まで運行するようになります。運行開始予定は、明年3月にです。私としては、国立音大の千手橋通りまで延長させたいと思っています。今後も頑張っ参ります。



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい！

◆市議会・環境建設委員会委員長

<高口やすひこ励ます会 発行>